

2024 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要（WEB 公開用）

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [吉田翔胡]

学年・組・番号 [3 年 I 組 22 番]

研究課題： 日本と東南アジアの比較から考える今後の教育の在り方

（英文） Future of Education in Japan and Southeast Asia in Comparative Perspective.

研究概要：

（研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200～400 字で記入してください）

動機・目的：筆者は 2024 年 3 月にシリコンバレーに留学し、日本との教育・研究環境の違いを認識した。そこで本研究では日本及び東南アジアで各国・地域の学校教育、研究環境、先進教育、生育環境、文化等を学び、自身の教育についての知見を深め、教育を受ける高校生の視点から今後の教育の在り方を論ずることを目的とする。なお、ここでいう教育とは学校教育、教育的なプログラム・事業等を含めた包括的な教育的活動を指す。

計画・方法：1. 夏休みに東南アジア諸国（インドネシア（グリーンスクール）、フィリピン、マレーシア、シンガポール等）へ巡検し、現地の教育・課題等を学ぶ。特に発展途上国の教育、イスラム圏の宗教教育、自然環境教育に着目する。2. 国内の教育・研究機関（東北大学（国際卓越大学）、地域未来留学を行っている高校等）を訪問し、日本の先進的な活動・課題を知る。3. 書籍や教育者との意見交換等によってブラッシュアップを行う。

研究成果：

（研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200～400 字で記入してください）

本研究では、7 月にフィリピン（セブ・マニラ）、インドネシア（バリ）、シンガポール（計約 10 日間）で巡検を行った。主な活動を以下に記す。セブ：セブ市議会議員の Gina Gulanes Perez と面会。現地学生 3 人と巡検（教会・博物館・学校での生徒へのインタビュー等）。市議会職員の案内の下、バジャウ族の村を視察、長老と懇談、その他。マニラ：スモークーマウンテン・ハッピーランドへの訪問。その他。バリ：The Open Flow のスタッフとしてボランティア活動、職員と懇談。Chloe Orphans（孤児院）訪問、職員と懇談。その他。シンガポール：NUS 視察。早稲田渋谷シンガポール校訪問、職員と懇談。生徒たちと大林組の建設現場視察、話を聞く。MOELC 訪問、授業を受ける。Verti Vegies 見学。その他。今回の巡検では様々な面で東南アジア諸国の実情を知り、特に教育分野について知見を増やすことができた。またそれをもとに東南アジア諸国と日本の新たな関係の構築について考えることができた。その他活動。

研究者：（以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する）

研究代表者 吉田翔胡

研究分担者

担当教諭 秋山和広 （受給額：26,000 円）

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名が WEB ページ上で公開されることに同意します
（次のページに続きます）

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



以上